

## 川のまちエリア会議「SOSネットワーク模擬訓練」実施



11月2日、気持ちのいい晴天に恵まれ、93名の参加で模擬訓練を開催しました。これは、矢向及び鶴見市場地域包括支援センターエリア内の医療・介護・福祉のネットワーク会議である「川のまちエリア会議」が今年度のテーマである「認知症の方への見守り」の一つとして取り組んだものです。当日は、区職員、警察はじめ他の地域のケアプラザ職員なども多く参加されました。

認知症役も捜索チームもエリア内の住民の方たちとし、会議メンバーはサポーターとしてチームに付き、それ以外の参加者は全体の観覧者として参加してもらいました。指定された訓練エリア内を「認知症役」の方には自由に動いてもらい気づいた捜索チームが声をかけ警察役である汐田総合病院に「通報」する、という流れです。各チームには撮影隊がつき終了後はその映像を見ながら振り返りを行いました。「たくさんの気づきがあって実際にやってみてポイントが分かった」「気になる方がいても認知症かどうかの見極めが難しい」「町会レベルで模擬訓練をやりたい」等住民の方からは積極的な意見が多くありました。他人事でなく困っている人に気づき声を掛けられる街づくりに生かされることを願って、この訓練が地域に根付いていくことを目指したいと思います。

※ダイジェストDVD作成しました。希望者はうしおだケアセンターまで。



### セミナーなどのお知らせ

12月12日 18:00～ 汐田総合病院会議室

地域・医療介護学習会

講師 平和病院 理事長 高橋 修先生

特別講演「癌とともに生きる 患者を支える

まちづくり～地域における緩和ケア連携



### 総合事業見学してきました

要支援者を対象に行われる、2015年から新たに設けられた「総合事業※」に取り組んでいる横浜市金沢区の「さくら茶屋」へ見学に向いました。

NPO法人「さくら茶屋にししば」が実施しており、ランチや喫茶・アートギャラリーを行う「さくらカフェ」で総合事業である「元氣ライブ」を行っています。内容は体操、座談会、食事、嚥下体操、歌などで、仕事を引退された地域の方で運営をされています。ボランティア人数も多く、地域に根付いた活動でした。

※総合事業：市町村が中心となり、地域の実情ごとに、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実させ、地域の支え合い体制づくりを目指すもの。（自治体主体の為、地域格差が発生するなど問題点も指摘されています。）



### メモリーカフェ

認知症にまつわる悩み、専門スタッフに相談できます♡

汐田総合病院 会場：ラウンジぴゅあ（病院2階）

12月14日(木) 14:00-16:00

うしおだ診療所 会場：友の会汐田・向井町支部事務所

12月14日(木) 13:30-15:30

### SOS模擬訓練の様子が新聞に掲載されました



神奈川新聞11/21

タウンニュース鶴見版11/9

今号でお伝えしました川のまちエリア会議「SOSネットワーク模擬訓練」が神奈川新聞とタウンニュースに掲載されました。民医連新聞にも2018年の新年号で掲載予定です。



### スタッフのひとこと

15年ほど前、ファシリテーションというものに興味を持ち、勉強するようになった。勉強といっても、関連する書籍を読む程度である。最近、コミュニティデザインに関する山崎亮氏の著書を手にした。一言で言えば、「縮充の時代における参加及び共創」と理解され、無差別平等の地域包括ケアを実現するためのヒントになった。そうだ、この推進にファシリテーションの技術を試みよう。O.K



うしおだ総合ケアセンター

We aim to build a non-discriminatory Integrated Community Care System that supports all